

衆議院小選挙区選出議員選挙 宮城県第5区
選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	連絡場所
小野寺五典	古川市東町5-37 電話 0229-25-5896

受理年月日	令和 年月日
受理番号	No.

暮ら
らし
し
を
守
る
。国
の
未
来
と
地
域
の

安全・安心なふるさとを

みやぎ県北高速幹線道路、みちのくウエストライン、築館バイパス、国道108号古川東バイパスなど、内陸部と沿岸部を結ぶ重要道路の整備、国道4号拡幅改良など生活道路や避難道路など地域が真に必要な道路整備を推進します。命を守る道路、三陸沿岸道路は令和3年に全線開通しました。今後も機能強化や地域の魅力を活用した誘導施設等の整備を進めてまいります。近年、大型台風や記録的豪雨など自然災害が東北でも頻発し、住民生活や地域経済に多大な影響を及ぼしています。洪水などの被害に対する不安を解消するため治水対策等、災害への万全な備えを推進し安全・安心なふるさとを創ります。

強い農林水産業の実現

世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響による肥料価格等の急騰に対応するための緊急対策を進めてまいりました。今後も生産者の努力では対応できない分野の環境整備等の施策を打ち出し、米の需給と価格の安定を図り、需要に応じた生産・販売の更なる推進に取り組みます。畜産についても、配合飼料価格の高騰に加え、牛肉の需要低下などにより厳しい経営環境にあります。農業資材価格に対する影響緩和対策、牛マルキンや子牛補給金といった経営安定対策等の必要な支援により、生産者の皆様をしっかりと支えてまいります。また、水産資源の適切な管理と成長産業化の両立を目指し、デジタル技術の活用等、水産業が持続的な発展を遂げるための施策を進めます。農林水産業の所得向上と地域の発展のための希望を持てる強い農林水産業の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

復興 残された課題への対応

東日本大震災から13年。復興事業は概ね完了に向かっていますが、被災地も全国と同様に人口減少や高齢化といった課題に直面しています。風評被害や心のケア等、残された課題に万全の対応が取られるよう体制と予算を確保して、持続可能で活力ある地域社会の創生に向けた道筋を確立します。決して風化させず、震災の記憶と教訓を後世へ継承してまいります。

三世代が一緒に暮らせるふるさとをめざして

衆議院小選挙区の区割りが改定され、これまでの宮城6区に、大崎市の旧三本木町、旧松山町、旧鹿島台町、旧田尻町、加美郡の色麻町、加美町、遠田郡の涌谷町、美里町が新たに、本吉郡の南三陸町が再び加わった、新宮城5区が私の新しい地元となりました。皆様方の声をお聞かせいただき、地域の基幹産業である農林水産業の発展や厳しい状況にある経済、雇用、暮らしの立て直し、皆様方が夢や希望を持てる地域づくりに全力で取り組んでまいります。一方、わが国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増しています。わが国の領土・領海・領空を断固として守り抜くため、引き続き安全保障上の諸課題に真摯に取り組む、私が政治家になった原点である「三世代が一緒に暮らせるふるさと」をめざし、全力を尽くしてまいります。

自民党 政調会長 昭和35年5月5日生まれ。気仙沼高校、東京水産大学卒。東京大学大学院法学政治学研究科修了。宮城県職員、松下政経塾 研究員、東北福祉大学助教授を経て、平成9年より衆議院議員。平成16年外務大臣政務官。平成19年外務副大臣。平成24年防衛大臣。平成29年防衛大臣(再任)。令和5年衆議院予算委員長。令和6年自民党政務調査会長。

プロフィール

宮城県第五選挙区
衆議院議員候補者
自民党公認
公明党推薦
小野寺五典